

TADESKA 2011. 3. 5.

担当 鈴木真由美

## 第2 外国語授業における学生の学習意欲、その向上と維持 ー授業運営の観点からー

### 0.モチベーションとは？

上下する？増減する？

aumentar? crecer?

### 1.どのような場合にモチベーションは上がる／維持できるか？

#### a.目的意識と結びついている時（学習者の内面作用）

例 スペインに行ってサッカーを観戦したい

他言語と比べて、スペイン語がどういうものか知りたい

再履修なので、何としても単位を修得したい（？）

→スペイン語を勉強してみよう

#### b.スペイン語授業や、スペイン語そのものが面白いと感じる時（教師が関与する余地あり）

→とりあえず勉強してみよう、出席してみよう

「やる気が出る授業」とはどんな授業か

##### \*教師個人に起因する要素

教師の人格的魅力、学生から見た教師との相性

雑談の面白さ

教師のやる気や熱意が伝わってくる授業

学生から見て「すごい、自分にはかなわない」と思えるような実力や実績（？）

##### \*学習内容に起因する要素

わかりやすい、身に付く、眠くならない

#### c.自分の学習や努力の成果が実感できる時（内因、外因の両方が作用）

→もっと頑張ろう

### 2.どのような場合にモチベーションは下がる、失われるか？

1のb.とc.が作用していない

→学生のモチベーションを下げないために望ましい授業運営とは（これを議論したい）

\*教師個人に起因する要素 については、こちらの方が本質的であると思えるが、教師の人格や相性云々となると、適切な取り上げ方が見つからず

限定的に参考になりそうなものとして、Dornyei の example<別紙参照>

\*学習内容に起因する要素 については、付随的であるように思えるが、教師の技術として  
努力、改善の余地あり 「わかりやすい、身に付く、眠くならない」授業とは  
<別紙の表を参照>

### 3. ケーススタディー鈴木が1年前まで4年間教えた環境

1. 高専（理系）4年生（大学1年生に相当）
2. 選択必修第2外国語、1年間のみ
3. クラス人数40～45名（女子は1割未満）
4. 1,2時間目授業（50分連続2コマ、100分、間に5分休み）
5. 学生のカリキュラムは実習、実験等も含め過密（ほぼ毎日1～8時間目）
6. 出席率以外の理由での単位不認定は出さない方向（追試験、再試験の実施）

#### 鈴木を試み

1. 毎回視聴覚室で授業を行い、毎回授業の後半で視聴覚教材を見せる  
教室や机の形状に問題→座席を指定
2. 普通教室で授業を行い（座席指定なし）、当てる回数や授業中の作業量を増やす  
小テストもこまめに実施。
3. 中間、期末試験（最大の問題が）

#### P.110 Dornyei より

##### 例 5.1. 教師のふるまいに関する方略

授業内容(course material)に対するあなた自身の熱意と、それがあなた個人にどのように影響を及ぼすかということを提示し、話をしなさい。

- ・L2に対するあなた自身の個人的な興味を学習者と共有しなさい。
- ・L2学習が、満足感を与え、人生を豊かなものにしてくれる意味深い経験だとあなたが信じているということを、学習者に示しなさい。
- ・学習者の学習に誠実に対応しなさい。
- ・学習者たちの進歩を気にかけているということを、学習者に示しなさい。
- ・あらゆる学問的事柄を示すのに、利用可能なあなたの精神的肉体的能力すべてをもってしなさい。
- ・あなたの生徒が達成できるであろう物事に、十分に高い期待を抱きなさい。